

名古屋市営地下鉄 名城線(2・4号線)様	全体概要	AVシステム事業部	A-209	1/2
			公共施設	

音声アナウンス、LED表示による自動案内装置と高感度監視カメラで、乗客の円滑な誘導を実現。

自動放送・LED表示案内/構内監視カメラシステム — 名古屋市営地下鉄 名城線(2・4号線)様



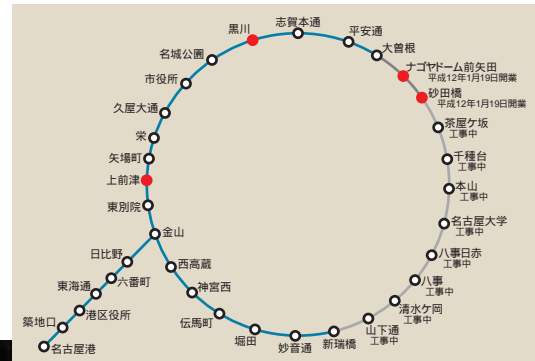
名古屋市内交通の大動脈のひとつ名城線

名城線(2・4号線)は、大曽根から名古屋港・新瑞橋を結ぶ総延長20.6kmの市営地下鉄です。名古屋市内を南北に貫くこの路線は、東西を結ぶ地下鉄東山線とともに、名古屋市内交通網の大動脈として機能しています。2000年(平成12年)1月19日には、大曽根の先にナゴヤドーム前矢田、砂田橋の2駅(1.7km)が延伸され、これを皮切りに、近い将来、新瑞橋までの路線延長・接続による、全国初の地下鉄の環状運転をめざしています。その名城線に、地下鉄業務の円滑な進行と安全な乗客誘導のため、自動放送・LED表示器による乗客案内システムと構内監視カメラシステムが導入されました。

- 施 主：名古屋市交通局
 納入路線：名城線(2・4号線)計26駅
 砂田橋～名古屋港(16.6km)
 金山～新瑞橋(5.7km)
 納入年月：2000年(平成12年)1月
 納 入：松下電器産業株式会社 公共システム営業本部 中部支店

システムの概要

名城線の全26駅に音声アナウンス・LED表示で構内を案内する、乗客案内システムが導入されました。各駅は光伝送装置でネットワーク化され、PTC装置より受信する電車の接近・到着・出発情報などを解析。自動的に放送・LED表示器が作動し、乗客を誘導します。延伸された2つの新駅「ナゴヤドーム前 矢田」と「砂田橋」には構内監視カメラシステムを設置。とくに、プロ野球シーズンの混雑が予想される「ナゴヤドーム前 矢田」では、ホーム・改札・切符売り場などの要所を確実に監視し、スムーズな電車運行と、細部にまで行き届いた乗客サービスを実現します。



駅構内のLED表示器



ホームに設置されたカラーテレックカメラ WV-CP150

監視カメラ映像を表示する操作卓

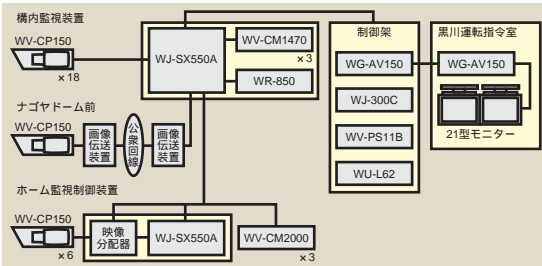


システムの特長

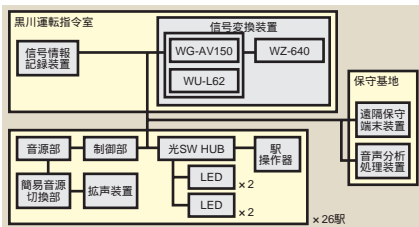
自動放送・LED表示案内システムで
円滑な乗客誘導を実現

名城線の全駅(26駅)に音声自動放送とLED表示による構内案内システムを設置しました。電車の接近・到着・出発の信号は、黒川運転指令室の信号変換装置から光伝送装置で、ネットワーク化された各駅に送られます。情報は音声と、文字による行先・乗継や列車接近案内などに交換され、各駅に伝送。ホームなどで自動放送・LED表示として案内されます。LED表示器は、14文字2段の表示が可能で、行先をオレンジ、接近・一般情報を緑、事故など緊急情報を赤と3色でわかりやすく表示します。

監視カメラシステム(ナゴヤドーム前矢田駅)



自動放送・LED表示システム(全駅)



システムを一括管理する遠隔保守端末で安心の業務進行
乗客案内システムの動作環境維持のため、保守基地に遠隔保守
端末・音声分析処理装置を設置。名城線全駅のシステムを一括集中監視しています。万一、システムにトラブルが発生した場合も、素早く確実な対応が可能になりました。

スーパーダイナミック方式を採用した監視カメラで、
暗い地下鉄構内でも明瞭な映像を撮影

2000年(平成12年)1月に延長開通した新駅(ナゴヤドーム前矢田、砂田橋)では、駅長室からの駅構内監視のために、照度差の大きな撮影条件でも調整のいらないSD方式のカラーテレックカメラWV-CP150が採用されました。明暗の差が激しい地下鉄構内でも、鮮明な映像を実現します。また、ナゴヤドーム前矢田で撮影された映像の一部は画像圧縮(1.5MB)され、光伝送装置を経由して運転指令室でも確認することができます。



黒川運転指令室に設置された信号情報記録装置



保守基地の案内制御装置・音声分析処理装置



カラーテレックカメラでホームを監視



ナゴヤドーム前矢田駅の監視カメラ制御架



黒川運転指令室の信号変換記録装置

おもな納入機器

LED表示器	110台
案内制御装置	26式
信号記録装置	1式
信号変換装置	1式
遠隔保守装置	1式
カラーテレックカメラ	WV-CP150 40台
ドーム型アーキテレックカメラ	WV-CF25 1台
マトリックススイッチャー	WJ-SX550A 4台
21型カラーモニター	WV-CM2000 3台
14型 "	WV-CM1470 6台